

応募用紙「土木広報大賞 2023」

団体名： 有限会社磯部組			
応募部門 (複数選択可)	<input type="checkbox"/> イベント部門	<input checked="" type="checkbox"/> 映像・メディア部門	<input type="checkbox"/> 広報ツール・アイテム部門
	<input checked="" type="checkbox"/> 教育・教材部門	<input type="checkbox"/> 商業広告部門	<input type="checkbox"/> 企画部門

土木広報活動または作品名：『土木ってどんな仕事?』など「磯部組お絵かきムービー」3部作

広報活動または作品の概要：

弊社は、1957年の創業以来、「地域に必要とされつづける企業でありたい」というモットーのもと、高知県安芸郡奈半利町を拠点とし、その近隣の町村で事業を展開し地域を支えている土木専門の小さな建設業者です。

弊社では、2008年6月から『土木のしごと～（有）磯部組現場情報』というブログ (<https://blog.goo.ne.jp/isobe-genba>) を使って、一般の方たちに公共土木工事の現場というものを伝えるために、日々発信を続けてきました。また、2019年1月からは、土木の魅力を伝えるためには、そこで働く人の姿を伝えることが重要だとの考えから、インスタグラム (<https://www.instagram.com/isobegumi/?hl=ja>) を使って、主に「土木現場ではたらく人」にフォーカスした写真を、これもまた日々投稿しつづけています。

2022年9月には、その活動をさらに進めるべく、ホームページを子供や一般の方が親しみやすいに全面リニューアルし（画像-1）、そのコンテンツのひとつとして、「土木の仕事」がどのようなものか、また地域の土木施工業者がどのようなことを行っているのか、一般、教育関係者、学生、生徒、児童らに広く知ってもらうため、また若年労働者の入職を促進するための動画を作成しました。そのスタイルとして採用したのが「お絵かきムービー」です（画像-2）。



画像-1 有限会社磯部組ホームページ <https://isobegumi.com/>



画像-2 ホームページに貼ったYouTubeへのリンク

「お絵かきムービー」とは、ストーリーブランディングの手法を使って商品や店舗の魅力を伝える動画で、主たる表現方法としては、ホワイトボードに手描きのイラストを描いては消しを繰り返しながら、それと同時進行でナレーションを入れていくというものがあります。物語を構成していく上で重要な位置を占めるストーリーブランディングとは、個人・商品・店舗・企業にまつわるフィクションではないエピソードやビジョンであるストーリーを、消費者や取引先およびステークホルダーなどに対して発信することで、想像力を刺激し共感を呼ぶことを促すブランディング手法ですが、弊社では、仕事をする上で個人や現場や会社それぞれにおいて過去実際にあったバラバラな事例を繋ぎ合わせて一つにし、それに適したフィクションを織り交ぜながら、物語を創り上げていきました。

まず第1作目は、タカハシくんという若い現場技術者の奮闘記です。昨今の若年労働者不足は技術者は言うに及ばず、土木に関係するすべての職種において深刻なものがあり、高知県もその例外ではありません。しかし、その解消として真っ先に期待されるべき教育機関である工業高校土木専攻生が、必ずしも土木業界に就職しないという現実があります。その対策として弊社では、20年近くにわたり地元工業高校土木科の現場見学を会社独自で受け入れ、また、職員が民間講師として授業に赴くなどして、土木の魅力を伝える活動を行ってきました。その一方で、技術者技能者不足を解消するための活動として、専門学科にのみ頼っているのは、焼け石に水という現状があります。また、昨今のICTの普及により、必ずしも専門教科を学んでいなくても、現場技術者として企業で育成していくことが可能になったという側面もあります。そこで、土木専攻生のみならず、また工業科、普通科、新卒、中途、経験、未経験の区別なく、広く「土木の仕事」の魅力を伝えるための動画としてこれを作成しました。

2作目『土木ってどんな仕事?』は、主として小学生に向けて土木を紹介するために作ったものです。ここでは、子供が親しみやすいように「ドボニャン」というオリジナルキャラクターを設定し、その疑問に「ミヤウチおじさん」というこの道40年のベテラン技術者が答えていくというストーリーとしました。実際には、未就学児童から中学低学年までにリアルな場で動画を見せて紹介していく活動もしていますが、その度に、「土木がどんなものかがよくわかった」という評価を教員や子供たちからもらっています。

3作目の『土木ってかっこいいよ!!』は、主として中学高校生を対象として作成しました。主人公は元幼稚園教諭の女性で、土木技術者としてはわずか2年の経験しかありません。彼女が、まったく畑違いの土木に転職しようと決意した経緯や、入職後に経験した大きな災害応急復旧工事、さらに現代土木におけるICT測量やICT施工などを、大先輩の土木技術者の体験談なども織り交ぜながら展開しており、動画の最後は「土木は、人と人とをつなぎ、街と街をつなぎ、過去と未来をつなぎ、ふつうの暮らしを支えている」という言葉と「土木ってかっこいいよ!!」というメッセージで締めくくりました。これは、近隣町村の中学校への出前授業、中学生の高校入学体験における土木科のPR、また現場見学体験など高校生向けの各催しなど、弊社がリアルな広報や啓発活動を行うに際して最も多く使用しており(写真-1)、これもまた2作目同様「わかりやすい。よく理解できた」と好評をいただいています。



写真-1 中学校への出前授業風景



写真-2 高等学校への出前授業風景